

名古屋大学大学院生命農学研究科
植物生産科学専攻植物遺伝育種学研究室助教（女性限定）公募要領

1	募 集 件 名	助教（テニュアトラック）女性限定公募
2	所 属	大学院生命農学研究科植物生産科学専攻植物遺伝育種学研究室
3	募 集 内 容	<p>名古屋大学大学院生命農学研究科では、男女共同参画を推進するため、女性教員を下記のとおり募集します。</p> <p>〔職務内容（業務内容、担当科目等）〕</p> <p>名古屋大学大学院生命農学研究科では、生命科学の基盤の拡充、生物機能・生物資源の高度利用、生命共生環境の創出・保全、および持続的生物生産と先端生命科学の技術開発を通して環境に調和した人類の発展を目指す総合的な学問分野として「生命農学」を位置づけ、創造的な研究活動によって真理を探究し、生命農学に関して世界屈指の知的資産形成・蓄積と継承に貢献することを使命としています。</p> <p>植物生産科学専攻においては、国内外の食料需給や植物資源利用の多様化、地球規模での環境変動に対応し、植物機能や生産性の改善を通じて、食・環境・健康の質的向上に貢献することを目的としています。本専攻内に設置された植物遺伝育種学研究室は、大学院生命農学研究科および農学部において植物遺伝育種学に関連する教育を担当し、ゲノム科学に立脚した基礎研究を通して作物の生産性と品質、環境ストレス耐性の向上への貢献を目指した研究と教育を行っています。</p> <p>今回公募する助教（テニュアトラック）には、植物遺伝育種学分野において、圃場およびゲノム情報を活用した作物の研究で優れた業績を挙げつつあり、当該研究室の研究の発展に貢献できる人物が求められます。また、上述の研究科・専攻の使命や目的を踏まえて大学院・学部の教育と研究指導に熱意と責任感を持って携わるとともに、組織の管理運営に責任感と協調性をもってあたる人が望まれます。</p> <p>【担当する業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植物遺伝育種学に関する先端的な研究 ・大学院生命農学研究科および農学部における教育 ・大学院生命農学研究科および農学部の管理運営に関連する業務 <p><担当授業科目></p> <p>(1) 大学院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博士前期課程：植物分子遺伝学特論（分担）、生命農学演習、修士論文研究など ・博士後期課程：博士論文研究

		(2) 学部 ・植物育種学（分担）、資源生物科学基盤実験実習（分担）、資源生物科学実験実習（分担）、専門セミナー、卒業論文研究 など	
		〔勤務地〕 愛知県名古屋市千種区不老町	
		〔募集人員〕 助教（テニュアトラック）・1名	
		〔着任時期〕 2022年12月1日以降早い時期	
4	募集研究分野	大分類	農学
		小分類	生産環境農学
5	勤務形態	常勤（テニュアトラック） 任期5年 ※本学テニュアトラック制度により、審査の上、合格した場合はテニュアを付与	
6	応募資格	〔必要な特定分野の資格・条件（学位などを含む）・専門性等の詳細〕 ・博士学位を有している者、または着任までに取得予定の者 ・植物遺伝育種学およびその関連分野の研究業績を有する者 ・大学院と学部における教育と研究指導に、熱意と責任感、協調性を持って取り組むことができる者	
7	待遇	〔採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、雇用期間、保険等）〕 ・東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110010928.htm ・給与は、東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用教員給与規程による年俸制。 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110001585.htm	
8	応募期間	2022年8月25日～2022年9月25日必着	
9	応募・選考結果通知連絡先	〔応募方法（提出書類の送付先）〕 (1) 応募する旨を明記した書類（応募者の連絡先、電話番号、電子メールアドレスなどを含む） (2) 履歴書 (3) 研究業績リスト ※履歴書、研究業績リスト（受賞歴、競争的資金等の研究課題、特許、指導歴・担当経験のある科目、委員歴、その他を含む）は下記から所定様式をダウンロードしてください。 https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/9P7Dzskb5WgCMmt 「競争的資金等の研究課題」は、過去の研究費獲得状況を代表と分担に分けて、名称と直接経費の額を記載してください。	

- (4) 現在までの研究の概要 (1,000 字程度、研究業績リスト番号を引用のこと)
- (5) 今後の研究に関する計画と抱負 (1,000 字程度)
- (6) 大学院・学部における教育に対する考え方と抱負 (1,000 字程度)
- (7) 大学における社会連携、国際協働についての考え (500 字程度)
- (8) 類型該当性の自己申告書と類型該当性判断のフローチャート
(<https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/general/fefta.html> から様式をダウンロードして作成すること)
- (9) 応募者について照会できる方 2 名の氏名、連絡先、電話番号、電子メールアドレス
- (10) 論文等の PDF ファイル (主要なもの 5 編以内)

- ・上記の書類 (1) ~ (9) を 1 つの PDF ファイルにまとめ、主要論文の PDF ファイル (10) とともにフォルダに入れ、圧縮 (ZIP 形式) フォルダにしたものを、以下のアドレスに添付で送信してください。
- ・メールの件名は「植物遺伝育種学研究室助教応募書類 (氏名)」としてください。
- ・ファイルサイズは全体で 50 MB を超えないようにしてください。やむをえず越えてしまう場合は、複数のメールに分割し、その旨を明記してください。
- ・応募締め切りの 1 週間後までに応募書類を受領した旨の連絡 (電子メール) が
ない場合には、委員長までお問い合わせください。

書類の送付先アドレス(電子メール): kobo-pgb[at]agr.nagoya-u.ac.jp

※メールアドレスの[at]を@に置き換えてください。

[問合せ先]

名古屋大学大学院生命農学研究科

植物生産科学専攻植物遺伝育種学研究室助教選考委員会委員長

中園幹生

電子メール: nakazono[at]agr.nagoya-u.ac.jp

※メールアドレスの[at]を@に置き換えてください。

※その他の問合せについても、委員長宛に電子メールにてお願いします。

[選考内容 (選考方法、採否の決定)]

- ・書類選考の上、面接を実施することがあります。
なお、対面にて面接を実施する場合の交通費は自己負担とします。
- ・採否の結果については、原則、電子メールで連絡します。

10	その他	<ul style="list-style-type: none">・本研究科は男女共同参画推進に積極的に取り組んでいます。名古屋大学の取り組みについては下記をご覧ください。 http://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/・2021年11月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。・提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。・応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分し、返却しません。
----	-----	---